

## Ⅱ 結果の概要

### 第1部 糖尿病等の状況

#### 1. 糖尿病

表1 解析対象者

(人)

	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(再掲) 40～74歳
総数	4,003	204	589	557	711	934	1,008	2,624
男性	1,619	88	200	210	264	411	446	1,082
女性	2,384	116	389	347	447	523	562	1,542

※ヘモグロビンA<sub>1c</sub>の測定値がある者を解析対象とした。

#### 1-1. 「糖尿病が強く疑われる人」, 「糖尿病の可能性を否定できない人」の状況

▼「糖尿病が強く疑われる人」, 「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定▼ (糖尿病実態調査(H9,H14)と同様の基準)  
 ①「糖尿病が強く疑われる人」とは、ヘモグロビンA<sub>1c</sub>の値が6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人である。  
 ②「糖尿病の可能性を否定できない人」とは、ヘモグロビンA<sub>1c</sub>の値が5.6%以上、6.1%未満で、①以外の人である。

図1 「糖尿病が強く疑われる人」, 「糖尿病の可能性を否定できない人」の年次推移

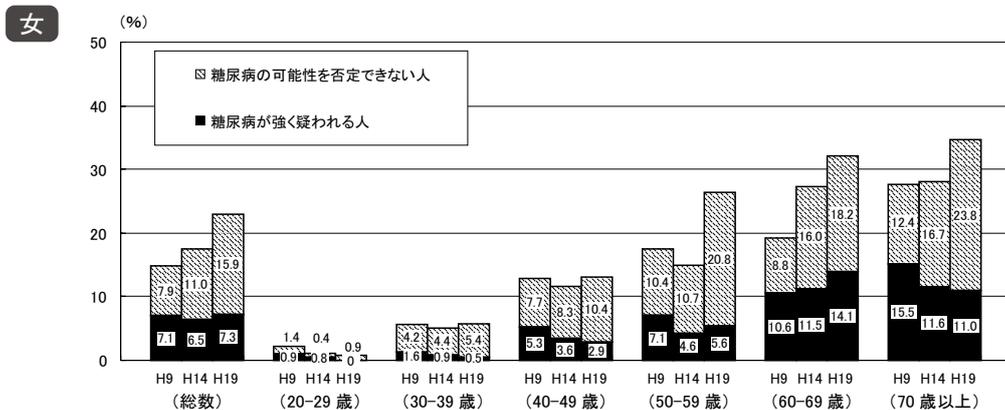
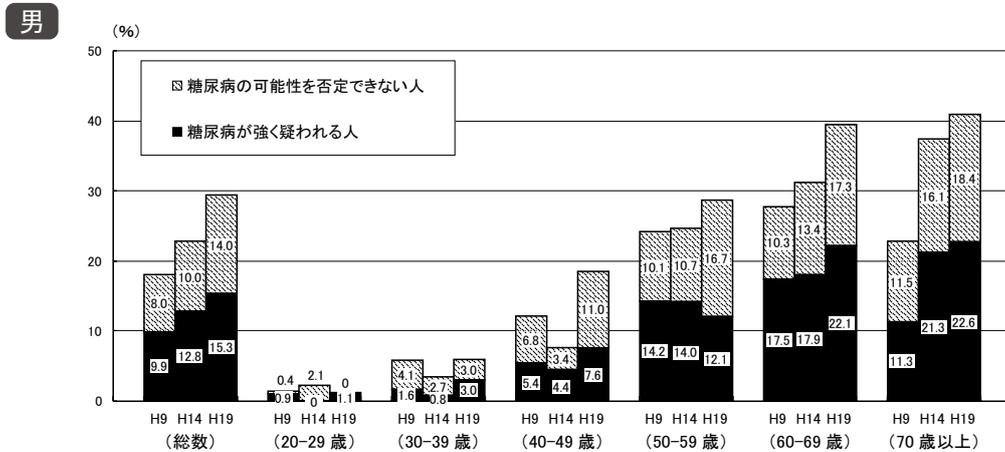


表2 「糖尿病が強く疑われる人」および「糖尿病の可能性を否定できない人」の割合

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
総数	糖尿病が強く疑われる人	420	10.5	1	0.5	8	1.4	26	4.7	57	8.0	165	17.7	163	16.2	318	12.1
	(うち服薬者) <sup>※</sup>	193	4.8	1	0.5	2	0.3	11	2.0	13	1.8	88	9.4	78	7.7	149	5.7
	糖尿病の可能性を否定できない人	606	15.1	1	0.5	27	4.6	59	10.6	137	19.3	166	17.8	216	21.4	443	16.9
	上記以外	2,977	74.4	202	99.0	554	94.1	472	84.7	517	72.7	603	64.6	629	62.4	1,863	71.0
	総数	4,003	100.0	204	100.0	589	100.0	557	100.0	711	100.0	934	100.0	1,008	100.0	2,624	100.0
男性	糖尿病が強く疑われる人	247	15.3	1	1.1	6	3.0	16	7.6	32	12.1	91	22.1	101	22.6	186	17.2
	(うち服薬者) <sup>※</sup>	120	7.4	1	1.1	2	1.0	8	3.8	8	3.0	50	12.2	51	11.4	94	8.7
	糖尿病の可能性を否定できない人	226	14.0	0	0	6	3.0	23	11.0	44	16.7	71	17.3	82	18.4	170	15.7
	上記以外	1,146	70.8	87	98.9	188	94.0	171	81.4	188	71.2	249	60.6	263	59.0	726	67.1
	総数	1,619	100.0	88	100.0	200	100.0	210	100.0	264	100.0	411	100.0	446	100.0	1,082	100.0
女性	糖尿病が強く疑われる人	173	7.3	0	0	2	0.5	10	2.9	25	5.6	74	14.1	62	11.0	132	8.6
	(うち服薬者) <sup>※</sup>	73	3.1	0	0	0	0	3	0.9	5	1.1	38	7.3	27	4.8	55	3.6
	糖尿病の可能性を否定できない人	380	15.9	1	0.9	21	5.4	36	10.4	93	20.8	95	18.2	134	23.8	273	17.7
	上記以外	1,831	76.8	115	99.1	366	94.1	301	86.7	329	73.6	354	67.7	366	65.1	1,137	73.7
	総数	2,384	100.0	116	100.0	389	100.0	347	100.0	447	100.0	523	100.0	562	100.0	1,542	100.0

※「服薬者」とは、質問票で「インスリン注射または血糖を下げる薬」の使用有と回答した者。

1-2. 「糖尿病が強く疑われる人」, 「糖尿病の可能性を否定できない人」の推計

今回の調査結果に平成19年10月1日現在推計の男女別、年齢階級別の20歳以上人口(全体約1億400万人)を乗じて推計したところ、糖尿病が強く疑われる人は約890万人、糖尿病の可能性を否定できない人を合わせると約2,210万人と推計された(表3)。

表3 「糖尿病が強く疑われる人」, 「糖尿病の可能性を否定できない人の推計」(平成19年)

	平成19年
「糖尿病が強く疑われる人」	約890万人
「糖尿病の可能性を否定できない人」	約1,320万人
「糖尿病が強く疑われる人」と「糖尿病の可能性を否定できない人」の合計	約2,210万人

(参考) 表4 「糖尿病が強く疑われる人」, 「糖尿病の可能性を否定できない人」の推計(平成9年, 平成14年)

	平成9年	平成14年
「糖尿病が強く疑われる人」	約690万人	約740万人
「糖尿病の可能性を否定できない人」	約680万人	約880万人
「糖尿病が強く疑われる人」と「糖尿病の可能性を否定できない人」の合計	約1,370万人	約1,620万人

## (参考)

本報では、「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定を糖尿病実態調査(H9, H14)と同様の基準（ヘモグロビンA<sub>1c</sub>の値が5.6%以上, 6.1%未満）を用いて行っているが、老人保健事業の健康診査では、ヘモグロビンA<sub>1c</sub>値5.5%以上を「要指導」としているため、「糖尿病の可能性を否定できない人」について、ヘモグロビンA<sub>1c</sub>の値が5.5%以上, 6.1%未満で判定した値についても参考値として示す。

表5 「糖尿病が強く疑われる人」および「糖尿病の可能性を否定できない人」の割合

(「糖尿病の可能性を否定できない人」のヘモグロビン A<sub>1c</sub> の値が 5.5% 以上, 6.1% 未満の場合)

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
総数	糖尿病が強く疑われる人	420	10.5	1	0.5	8	1.4	26	4.7	57	8.0	165	17.7	163	16.2	318	12.1
	(うち服薬者) <sup>*</sup>	193	4.8	1	0.5	2	0.3	11	2.0	13	1.8	88	9.4	78	7.7	149	5.7
	糖尿病の可能性を否定できない人	844	21.1	3	1.5	46	7.8	86	15.4	179	25.2	234	25.1	296	29.4	614	23.4
	上記以外	2,739	68.4	200	98.0	535	90.8	445	79.9	475	66.8	535	57.3	549	54.5	1,692	64.5
	総数	4,003	100.0	204	100.0	589	100.0	557	100.0	711	100.0	934	100.0	1,008	100.0	2,624	100.0
男性	糖尿病が強く疑われる人	247	15.3	1	1.1	6	3.0	16	7.6	32	12.1	91	22.1	101	22.6	186	17.2
	(うち服薬者) <sup>*</sup>	120	7.4	1	1.1	2	1.0	8	3.8	8	3.0	50	12.2	51	11.4	94	8.7
	糖尿病の可能性を否定できない人	314	19.4	1	1.1	15	7.5	33	15.7	60	22.7	92	22.4	113	25.3	227	21.0
	上記以外	1,058	65.3	86	97.7	179	89.5	161	76.7	172	65.2	228	55.5	232	52.0	669	61.8
	総数	1,619	100.0	88	100.0	200	100.0	210	100.0	264	100.0	411	100.0	446	100.0	1,082	100.0
女性	糖尿病が強く疑われる人	173	7.3	0	0	2	0.5	10	2.9	25	5.6	74	14.1	62	11.0	132	8.6
	(うち服薬者) <sup>*</sup>	73	3.1	0	0	0	0	3	0.9	5	1.1	38	7.3	27	4.8	55	3.6
	糖尿病の可能性を否定できない人	530	22.2	2	1.7	31	8.0	53	15.3	119	26.6	142	27.2	183	32.6	387	25.1
	上記以外	1,681	70.5	114	98.3	356	91.5	284	81.8	303	67.8	307	58.7	317	56.4	1,023	66.3
	総数	2,384	100.0	116	100.0	389	100.0	347	100.0	447	100.0	523	100.0	562	100.0	1,542	100.0

※「服薬者」とは、質問票で「インスリン注射または血糖を下げる薬」の使用有と回答した者。

## ▼ 「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定 ▼

- ① 「糖尿病が強く疑われる人」とは、ヘモグロビン A<sub>1c</sub> の値が 6.1% 以上, または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人である。
- ② 「糖尿病の可能性を否定できない人」とは、ヘモグロビン A<sub>1c</sub> の値が 5.5% 以上, 6.1% 未満で、①以外の人である。

### 1-3. 糖尿病が強く疑われる人における治療の状況

糖尿病が強く疑われる人における治療の状況において、現在治療を受けている者の割合は、平成9年、平成14年に比べて増加していた。

図2-1 糖尿病が強く疑われる人における治療の状況の年次推移（20歳以上）

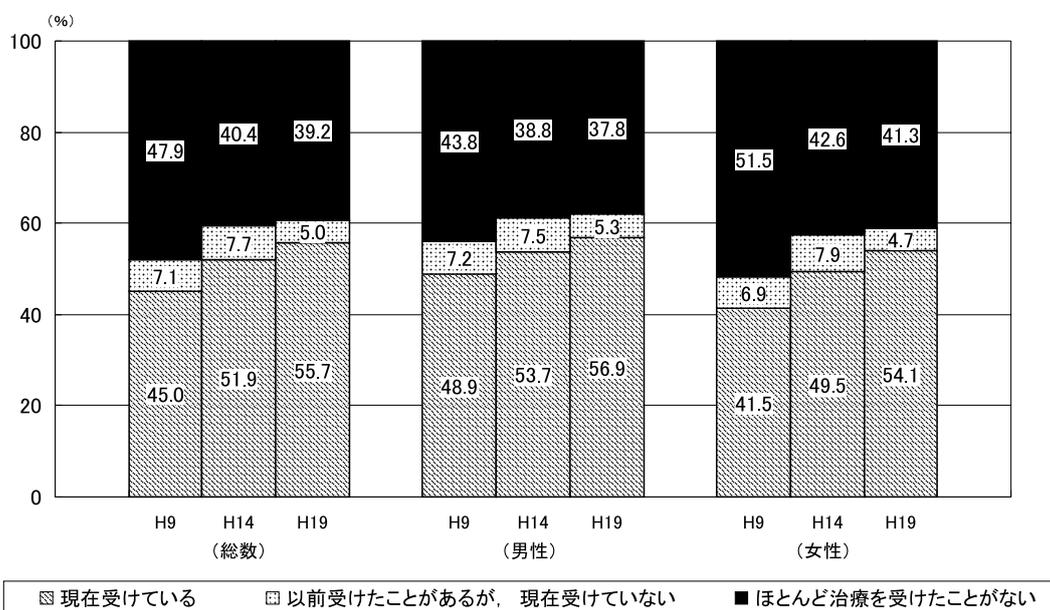
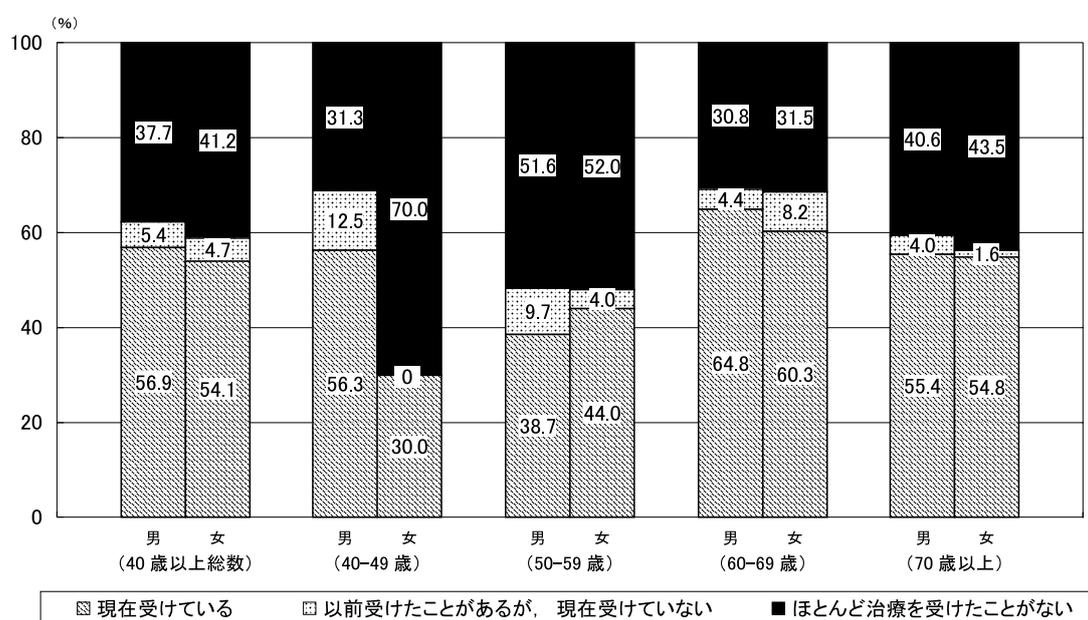


図2-2 糖尿病が強く疑われる人における治療の状況（40歳以上）



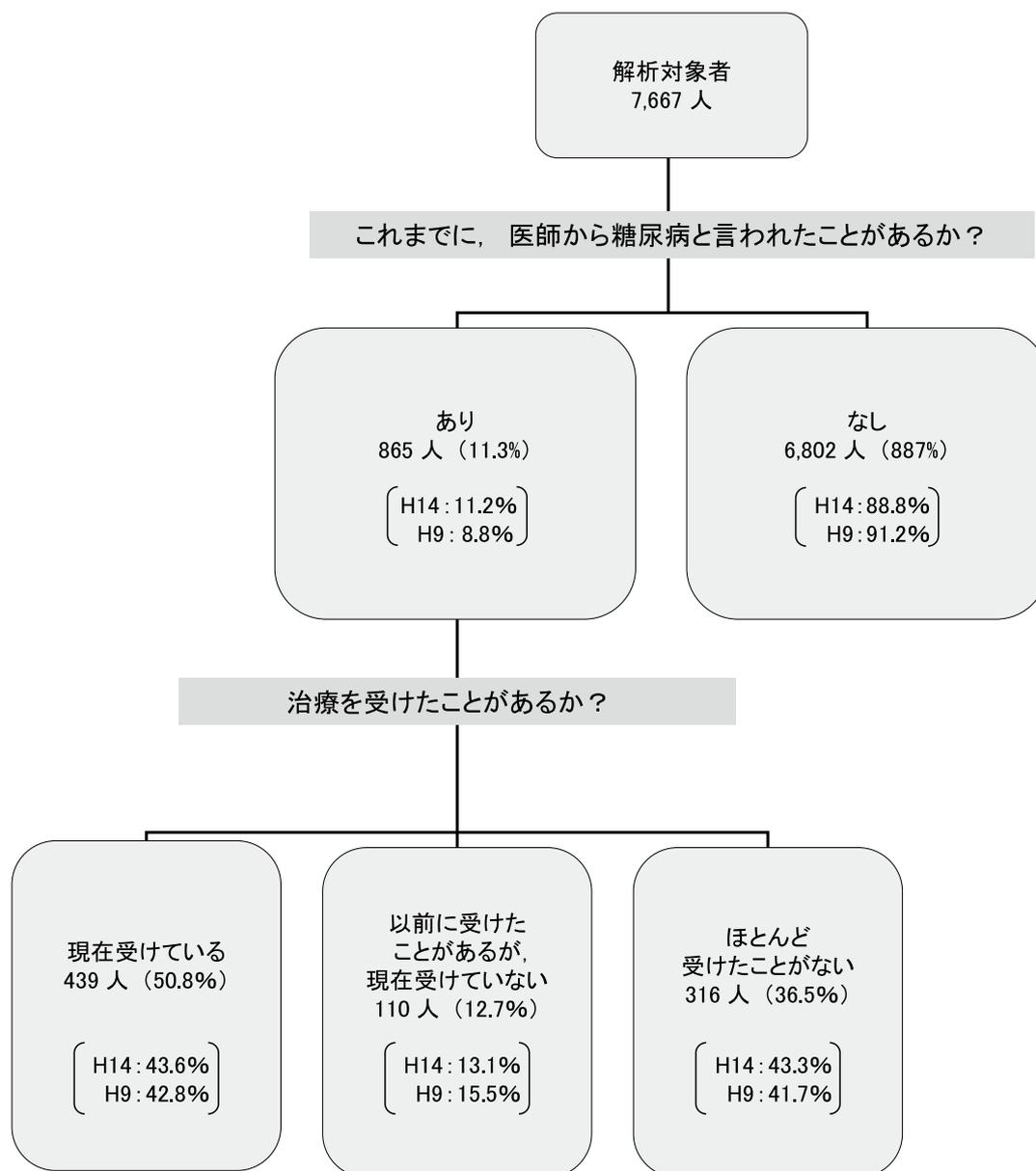
※ 本報告4頁で示した「糖尿病が強く疑われる人（ヘモグロビン A<sub>1c</sub> の値が6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人）」について、「糖尿病の治療を受けたことがあるか」という問をまとめた結果である。

なお、図2-1及び図2-2の「ほとんど治療を受けたことがない」は、「医師から糖尿病と言われたことがない」者（男62名、女54名）を含む。

## 1-4. 糖尿病に関する医療サービス

医師から糖尿病と言われたことがある人（「境界型」、 「糖尿病の気がある」、 「糖尿病になりかけている」、 「血糖値が高い」 等のように言われた人も含む）は、平成14年と同水準だったが、「現在治療を受けている」人は増加していた。

図3 糖尿病に関する医療サービスの状況（20歳以上）



注) 各問における未回答者を除いた上での集計結果である。